

# 米軍属再逮捕

# 殺人・強姦致死容疑

## 米軍属女性遺棄事件

本島中部の女性が遺体で見つかった事件で、県警は9日、死体遺棄容疑で逮捕していた元米海兵隊員で米軍属のケネス・フランクリン・シンザト(旧姓ガドソン)容疑者(32)を、殺人と強姦致死の疑いで再逮捕した。県警特別捜査本部(本部長・渡真利健良刑事部長)はつるま署で会見を開き、再逮捕について説明する。

## 県警が会見

ケネス容疑者の逮捕容疑は、4月28日につるま市内をウォーキング中の女性に対し乱暴しようと考え、殺意を持って棒で殴り、草むらに連れ込んで首を絞め刃物で胴体を刺すなどして殺害した疑い。

ケネス容疑者は死体遺棄容疑で逮捕された後の5月20日から、事件についての供述を拒否している。逮捕当初、ケネス容疑者が「乱暴して刃物で



ごみの山から事件に関するスーツケースとみられる物品を回収する捜査員ら。5月30日、つるま市内



ケネス・フランクリン・シンザト(旧姓ガドソン)容疑者(LinkedInより)

捜索では、ケネス容疑者が遺体を遺棄した後に立ち寄ったとされるつるま市州崎と豊原の間の水路から女性の自宅の鍵と凶器とみられる棒を発見したほか、基地内のごみを集積するつるま市の最終処分場から事件に関係した可能性のあるスーツケース数点を押収した。

米軍関係者が殺人容疑で立件されるのは、1995年に宜野湾市内で20代の女性を殺害し、殺人罪で起訴された米海兵隊一等兵以来となる。